

令和7年 お茶づくり技術情報 (No.5)

2025年4月22日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 気象と生育

1) 一番茶の生育状況

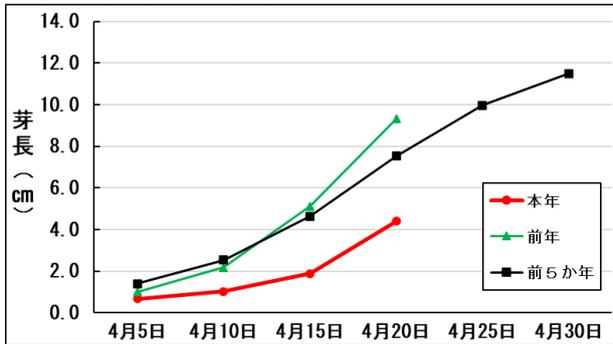


図1 新芽長の推移

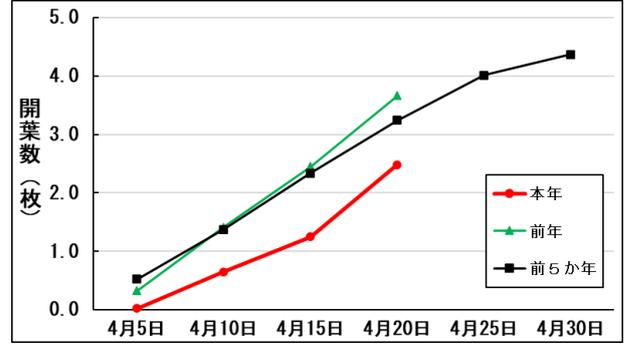
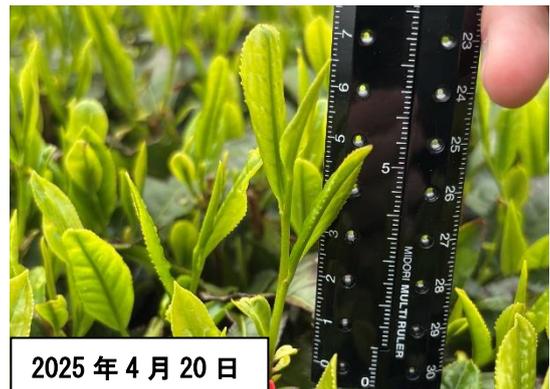
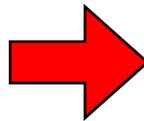
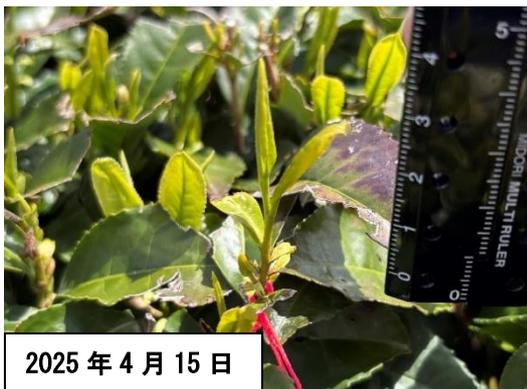
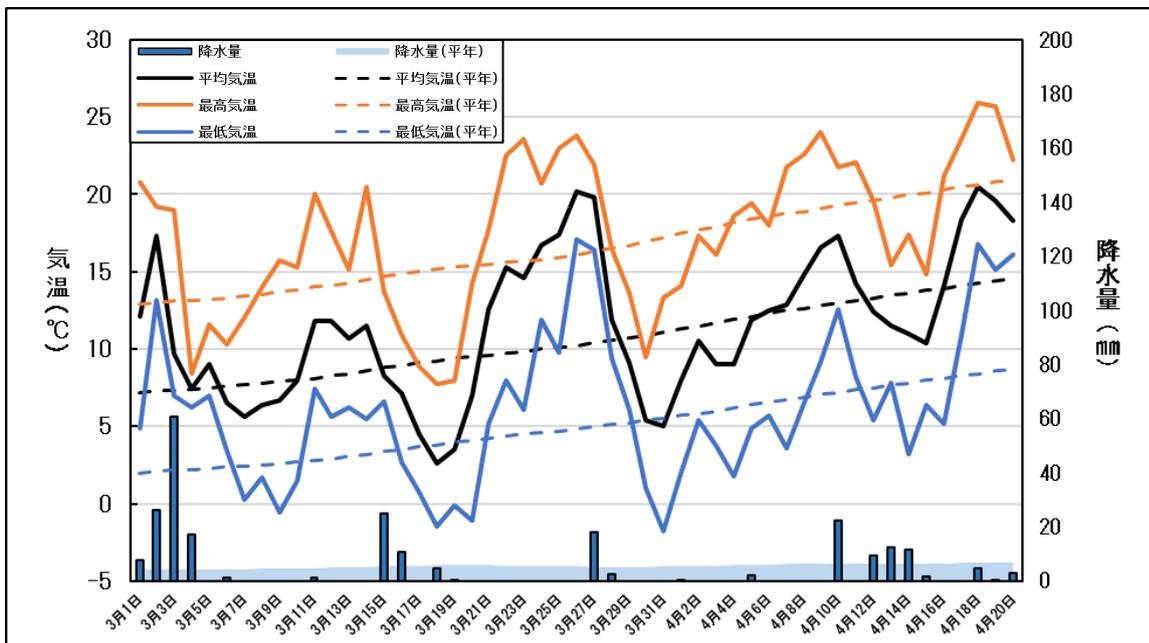


図2 開葉数の推移

(1) 4月20日時点で芽長 4.3 cm、開葉数 2.4 枚であり、前5か年平均と比較しておよそ5日遅れで生育が進んでいる（前5か年平均では20日時点で芽長 7.5 cm、開葉数 3.2 枚）。

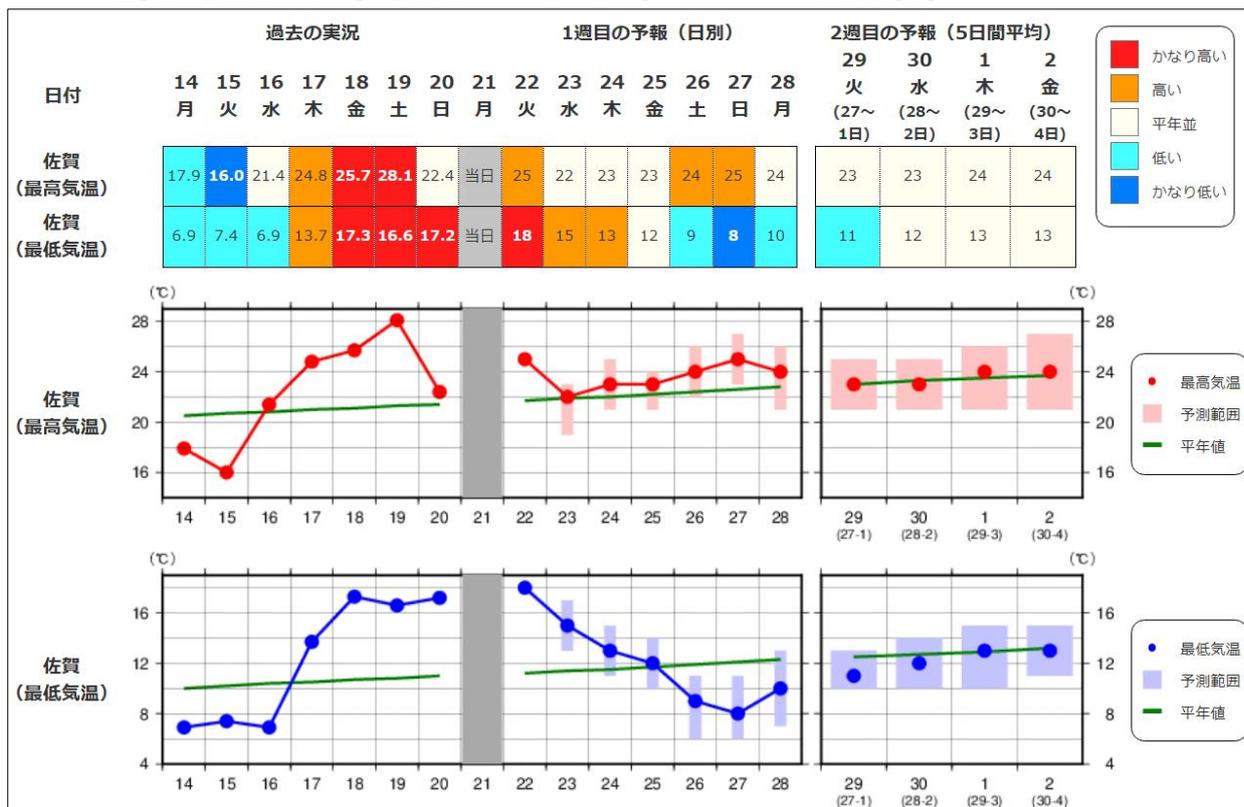


2) これまでの気象 (3月~4月、嬉野 アメダスポイント)



3) 今後の気象の見通し

■ 2週間気温予測 (気象庁、2025年4月21日更新)



(1) 4月17日から1週間程度、平年より気温が高い日が続くが、26日から29日まで最低気温が平年よりも低く推移する見込みのため、この間は生育が緩慢になると予想される。

■ 1か月予報 (気象庁、令和7年4月17日発表)

向こう1か月の天候の見通し

九州北部地方 (山口県含む) (4/19~5/18)

	平均気温 (向こう1か月)	降水量 (向こう1か月)	日照時間 (向こう1か月)
九州北部地方 (山口県含む)	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

(1) 向こう1か月の気温は、期間のはじめを中心に暖かい空気が流れ込みやすいため、平年並か高い見込み。

(2) 向こう1か月の降水量は、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けにくいいため、平年並か少ない見込み。

今後の生育予測や被覆時期の調整に気象庁の予報サイトを活用しましょう!

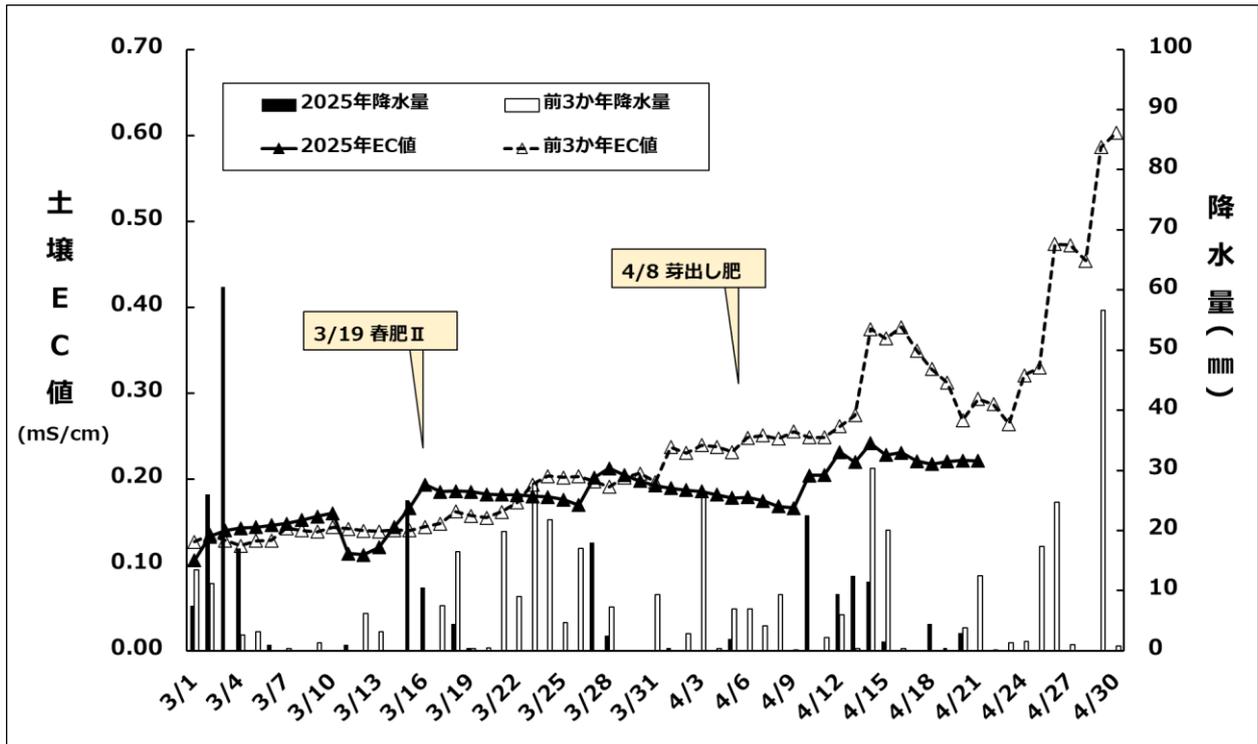


1か月予報 (九州北部)



2週間予報 (佐賀県)

4) 土壌 EC 値の推移



(1) 4月12～14日の降雨によって上昇した後、横ばいに推移している。

○EC値（電気伝導度）とは

- ・ 土壌中の水溶性塩類の総量を示し、塩類濃度の指標として使われる。
- ・ 土壌中の硝酸態窒素含量の推定に有効

{ 多い→pHが低下して塩基成分が溶出しやすくなり濃度障害を生じやすくなる。
 { 低すぎ→肥料成分が少なく、生育不良に



これまでの
 お茶づくり技術情報は
 ←こちらから